

高梁市議会だより

第56号
2023年11月

9月定例会

令和4年度決算審査

災害復旧工事・繰り返された未払い事案

原因究明と再発防止に向けて
特別委員会を立ち上げ



原因究明と再発防止に向けて 特別委員会を立ち上げ

議会冒頭に市長が報告

たものです。

再び起きた

「工事費未払い」

9月定例会冒頭に市長から、2件の災害復旧工事の未払い事案が報告され、申し訳ないとの陳謝がありました。

9月定例会では、執行部から

内容は令和2年度と令和4年度の災害復旧工事において、職員が工事請負者に対して追加工事を口頭で発注し工事を終えたが、変更契約等必要な手続を行わず、2か所の工事で約2900万円が未払いとなっていました。これを受け市が庁内調査を行い、他には同様の事案はないことを確認し、市長が陳謝し

「令和4年度決算」において災害復旧工事費の未払いの件は全く触れられず、決算監査報告でも「適切に行われている」と意見が付けられました。

議会全員協議会で説明を

この未払い事案について、議会全員協議会を開催し、執行

部の説明を求め、疑問や意見をぶつけてきました。また令和4年度の決算認定に未払いに関係する災害復旧工事も含まれており、議案質疑や、議員の一般質問の冒頭や、討論でも取り上げられました。しかし、そのやり取りや説明は議員の納得を得られるものではなく、議会として「災害復旧事業に係る未払金調査等特別委員会」の設置を決めました。

6年前の教訓は

生かされなかったのか

高梁市では平成29年度にも、工事を発注したにもかかわらず工事請負者と契約書を交わさず工事費が未払いになっていったという事案が発生しています。この時には、5年間で19業者に対して約200件、1億円を超える工事費の未払い事案が発生しました。

当時の議会では、このような

画像はイメージです。高梁市ではありません。

議会での経過(途中まで)

- 9月 8日 市長が議会で未払い事案の発生を報告
- 8日 議会運営委員会で議論
- 14日 全員協議会を開催し、執行部が説明
- 15日 議会運営委員会で議論
- 22日 議会運営委員会で議論
- 27日 全員協議会を開催し、再度執行部が説明
- 27日 議会運営委員会で議論
- 29日 特別委員会設置、第1回開催
- 10月 4日 特別委員会第2回開催
- 18日 特別委員会第3回開催



不適切な事務処理は決して容認されるべきものでなく、同時に市民の行政に対する信頼を失墜させる行為であるとして、「百条委員会」を設置し、調査を行い再発防止を求めました。17ページにわたる調査報告書では、見積書や工事写真など関係資料の問題、着工指示等の確認の問題、担当者と工事請

負者間のコンプライアンスの問題などから、管理体制の厳格化、業務フローの改善を求めました。また、工事箇所の現場状況、位置情報、工事請負者への指示内容などの基本情報を集約管理し、各職場内で全ての職員が情報共有と状況把握ができる体制の構築と、現場の指示職員と事後管理する職員を分離

しダブルチェック体制を求めました。他にも人材育成や管理職の登用についても改善を求めています。

今後、議会が果たすべき役割は

今後「工事費の未払金」を支払うための補正予算などが議会に提案されることが予想されます。

議会としては、原因究明なくては再発防止策はできないとして、早急な対応を行うこととしました。

また、6年前に議会がまとめた「調査報告書」に対する執行部のその後の対応についても、議会のチェックがどうだったかを検証していく必要があると考えています。

災害復旧事業に係る未払金調査等 特別委員会委員

委員長	川上 博司
副委員長	伊藤 泰樹
委員	宮田 好夫
委員	石部 誠
委員	森上 昌生
委員	森 和之
委員	新倉 淳
委員	平松 久幸

令和5年9月定例会 令和4年度



決算審査

令和5年9月8日から29日までの22日間、令和5年第5回9月定例会を開催しました。市長から認定4件と議案9件が提出され、4件を認定、残り9件を原案のとおり可決しました。併せて追加提出された、新消防庁舎、有漢義務教育学校の工事請負契約に係る議案6件を原案のとおり可決し、人事案件の議案2件のうち、1件を同意、1件は適任としました。

請願2件については、1件を採択、1件は継続審査となりました。さらに議員発議の議案2件を原案のとおり可決し、災害復旧事業に係る未払金調査等特別委員会の設置を可決しました。

総務文教委員会 旧西山小学校プール 解体工事で議論

総務文教委員会に付託された議案は認定1件、議案12件、請願1件でした。

質疑では、高梁市文化交流館が直営から指定管理に変更したことに伴いサービスの低下があるのではないかと指摘があり、利用者からそういった声が上がることのないよう管理業務に努めていただくとの回答がありました。

市消防団条例の一部を改正する条例は、現在の1400名定員を1200名に改めるものです。消防団員は9月1日現在機能別団員を含め1195名となっている現状を踏まえ、毎年10月1日をもって積算される1人約2万円強にのぼる岡山県市町村総合事務組合負担金があり、200名削減することによって約430万円の削減がで

きるとの回答がありました。

昨年9月議会の「西山辺地に係る総合計画の策定について」の議案で風致園整備とされていた事業が、令和4年度決算書で旧西山小学校プール解体工事に使用されていることについて不適切ではないかと指摘がありました。これに対して、備中天神桜を鑑賞に来る観光客の駐車場のための措置であり、以前から地域の要望でもあったとの回答でした。昨年の議案提出時もありにくい説明で、今回改めて指摘しましたが十分な説明がありませんでした。

なお、少人数学級の拡充及び教職員定数改善に係る請願は全員一致で採択しました。



旧西山小学校プール跡地



産業経済委員会

観光施策の効果検証 について多くの意見

産業経済委員会に付託された案件は認定3件、議案2件の計5件でした。認定第1号「令和4年度高梁市各会計歳入歳出決算認定について」では、委員から、「高梁市の財政が厳しさを増している中で、産業経済委員会関係の予算は、投資的な予算なので、市内で循環を生む仕組みづくりを考えていかなければ、市内業者の育成に繋がらないのではないか」との意見がありました。観光についての議論のなかでは「観光業者の育成や、市内業者との連携による観光業の充実、そしてANA関係企業やCCCなどに発注して事業を行っているが、しっかりとした費用対効果の検証と企業が持つスキルを高梁市の観光に結びつける努力を行ってほしい」との意見が出され、執行部からは「予算により地域が潤うよう

な形にしていきたい」「地域アドバイザーには、産業連関表の作成やDMO(※)の認定や観光庁の補助金の採択、総務省の補助事業などに取り組んでいただいた。今後は、市内の業者とつながりを持ち、観光でお金を消費していただける仕組み、制度をつくっていきたいと考えている」との答弁がありました。



日本遺産センター



市民生活委員会

国保税の改正と 請願1件を審査

9月例会で、市民生活委員会に付託された案件は、認定2件、議案3件の計5件でした。認定第1号の令和4年度高梁市各会計歳入歳出決算認定の審査では委員から、現在高梁市において不足している介護や看護の人材確保についてや奨学金の効果など、幅広く市民生活委員会の所管事項について詳細にわたり質疑が行われ、全員一致で認定しました。

次に、前回継続審査とした請願第1号「心身障害者医療費助成制度の精神障がい者への適用に関する高梁市の単独での実施についての請願」の審査に当たって、岡山県知事が9月定例県議会において独自の医療費助成の導入を検討すること、今後の動きを研究すべきとの意見から、全員一致で継続審査と決しました。

討 論

反対討論

石部 誠議員

議案のうち認定第1号の令和4年度決算に反対する。行革により市民サービスが低下する中、物価高騰等により肥大化した3件の大型建設事業は進められていく。一部企業や団体等への事業委託や指定管理の予算が優先されるなどの問題も散見される。民間委託や指定管理者制度は、情報公開が欠落し、指定管理先の労働者が低賃金になり地域経済の低迷も起き得る。

国保財政の6億円近い基金は料金引き下げに使うべき。例年続く大学留學生の不納欠損が、他の国保加入者の国保税に上乗せされる問題の解決はされていない。

災害復旧工事の代金未払い事業は、6年前の同事案の教訓が生かされていない。監査委員の報告では決算は適正であったとされたが、市民にも議会にも理解を得ることはできない。以上の理由から議案に反対する。

乙議案第4号 高梁市議会議員政治倫理条例

高梁市議会には議員政治倫理条例がななく、この度、議員が在宅起訴される案件が起こったこともあり、議会運営委員会では条例の規定に向けた議論を重ねてきました。

全員協議会で全議員から条例案についての意見と修正箇所の要望を聞き取り、意見を反映し修正を加えた上で、9月定例会に乙議案として提出しました。高梁市議会議員政治倫理条例は、賛成多数で可決されました。

条例案作成に当たっては、県下12市の条例等を参考とし、議会基本条例にある政治倫理の内容の具体化、審査の手続きの明確化に努め

反対討論 川上修一 議員

高梁市議会議員政治倫理条例案に対しては反対の立場で討論する。今回の条例案に関する議会運営委員会での協議の中で、議員の兼職について議論されたが、兼業禁止規定については設けられないなど十分な配慮がなされていない。政治倫理とは何であるか本当に重要な部分が議論されていないのではないか。他の議員からも、人権に関することであるから全員で慎重に考えるべき事案だとの主張があったにもかかわらず、議案が提出された。

議会は人を裁く機関ではなく、人を守る機関でなくてはならないと思う。三権分立の考え方からいえば、地方議会が立ち入ってはならない分野であると考えている。目の前にある案件にどれもこれも白黒つけようとするのではなく、幅広い考え方をもち、将来に通用する条例をつくるべきである。そのためにはプロセスが非常に大切である。将来に向けて、皆が理解できるようなものであつてほしいということで反対をする。

9月定例会で賛否が分かれた議案の採決結果

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席

議案番号	件名	金尾	新倉	平松	伊藤	森上	森	石井	三村	石部	宮田好	小林	川上修	倉野	川上博	宮田公	大月
認定第1号	令和4年度高梁市各会計歳入歳出決算認定について	●	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
乙議案第4号	高梁市議会議員政治倫理条例	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	退	●	●	○	○	○

※議長は採決には加わりません。 ※他の議案は全会一致で可決しました。

議会報告会の参加団体を募集しています

議会報告会は、議案等の審議経過や結果を市民に報告するとともに、市政の課題について市民の皆さんと意見交換することを目的に開催してきました。次回開催に向けて参加団体を募集していますので、お気軽にご相談してください。

対象

高梁市内に所在し活動する団体など（町内会でも構いません。）

応募方法

申込書に記入して議会事務局に提出してください。申込書は議会事務局に備えてあるほか、ホームページからもダウンロードできます。「高梁市議会議員意見交換会」で検索してください。

・場所及び開催時期は、お申し込みの団体と協議の上、決定します。
・公平性の確保のため、同一団体との開催は年1回とさせていただきます。

お問い合わせ

議会事務局
☎(0866) 21・0277

申請書ダウンロード URL

<https://www.city.takahashi.lg.jp/site/gikai/gikaihoukokukai31-11.html>



議会 ニュース



議会のあり方検討特別委員会 管外行政視察報告

議会のあり方検討特別委員会では、次期改選から議員定数が削減となることに伴い委員会構成等を研究する目的で、7月31日に真庭市議会を、8月25日に新見市議会を訪問しました。

真庭市議会では、委員会中心主義を踏まえた議会運営、委員会審議が行われ、定例会の開会前に執行部から各常任委員会に提出予定議案の詳細な説明が行われます。説明資料もかなり詳しく記載されており、定例会開会後の議案質疑では、

提案理由についての質疑がある程度で、議案の中身は各委員会でも質疑します。また補正予算についても、事業目的、内容、財源等が記載された資料が提出され、補正額が少額でも政策的な事業については特別委員会を開いて審議しているとのことでした。

新見市議会では、委員会構成等について意見交換を行いました。新見市議会の議員定数は16人で、常任委員会は、予算決算常任委員会を除き、3委員会となっていて、常任委員会の定数は各10人で、議長を除き1人の議員が2つの常任委員会に所属することになっていました。この方式に至るまでに

は3委員会から2委員会にして、2委員会から3委員会に戻して議員は複数委員会に所属と試行錯誤を行ったそうです。

複数所属の利点は、議員が幅広い見識を持つことができる、委員が多い方が多様な意見が出て議論が深まるなどがあり、デメリットは特段感じていないとのことでした。

議会のあり方検討特別委員会では、5月に視察した井原市議会の方式とも合わせて、委員会構成や委員会の審議内容の検討材料にしたいと考えています。



新見市議会との意見交換

議会運営委員会 管外行政視察

議会運営委員会では、委員会審議の充実を目的に、7月11日と12日に、岐阜県瑞浪市と三重県亀山市で管外行政視察を行いました。

瑞浪市議会は、毎年、議会独自の事業評価報告書を市長に提出しています。

市の事業を10項目程度選定し、執行部へのヒアリング後に、必要性、実施主体、目標指標、効率性、成果の5項目を議員がA(きわめて良好)〜E(かなり問題がある)で評価します。議会の事業評価報告書がきっかけで中止された事業もあるとのことでした。

亀山市議会では、常任委員会の所管事務調査を年間スケジュールに基づいて行っています。11月下旬に正副委員長会議でスケジュールを確認、12月に各常任委員会で調査・研究テーマを決定します。

それを基に、行政視察や関係団体との意見交換会の実施、問題点及び提言事項の整理などを翌年8月末までに行っています。9月定例会で各常任委員長から調査結果を報告し議長に報告書を提出。10月に議長から市長へ提言書を提出します。

市民や関係団体との意見交換会は所管事務調査のテーマに沿って行われていて、内容が充実していると感じました。

また、調査結果は提言書として執行部に提出されるため、議会としてのチェックや提言内容が伝わりやすいと感じました。

総務文教委員会 管外行政視察

総務文教委員会では、8月22と23日に、山口県周南市と福岡県嘉麻市で管外行政視察を行いました。

周南市では、「周南市公共施設再配置計画」についての説明を受けました。



稲築東義務教育学校の図書空間

同市には合併により重複した公共施設が多数あり、40年間で30%、1766億円の削減を目標としています。対策として施設の複合化と多目的化を目指しているとの説明がありました。今ある公共施設を計画的に有効活用して「身の丈にあった施設保有量」としていくように方向を定めているとのことでした。

周南市ではシティプロモーションにも注力しており、その1つ「市民ライター制度」は、令和3年11月から、周南市の観光、自然、イベント、グルメ

情報を市民の目線で写真と記事を入れてSNSで発信するものです。閲覧ユーザー数は令和5年8月段階で約4万4000人と、市民参加が大きな力となっていました。

福岡県嘉麻市では令和5年4月、同時に3校の義務教育学校を開校しました。総事業費約140億円。今回はその1校で、児童・生徒数約600名の稲築東義務教育学校を視察しました。

校舎中央部の吹き抜け部分に図書空間を備え、学校とは思えないようなデザインが施されていました。また体育館は、災害避難者対応として冷房設備が整備されていました。担当者の説明では「この夏厳しい暑さのため電気代などのくらいになるのか心配」との説明がありました。どの学校でも「ふるさと学習」「キャリア教育」「異学年交流（小・中）」等を中心に据えて教育を進めているとの説明がありました。

松山踊り団体連に 市議会として参加

県下3大踊りの1つであるで「備中たかはし松山踊りが」8月14日から16日まで、4年ぶりに開催されました。16日には、市議会連として踊りコンテストに参加しました。15日は台風で中止になりましたが、初日と最終日は天候に恵まれ、踊りの音色と合の手が夏の夜に元氣よく響いていました。



松山踊り議会連

岡山県市議会議員研修会に
参加しました



まなび広場にいみでの岡山県市議会議員研修会

8月9日に、まなび広場にいみ・大ホールにおいて、第53回岡山県市議会議員研修会が開催され、多くの議員が参加しました。建築家の西村浩氏を講師に、「空き家の増大と住宅政策」スポンジシティの未来」についての講演を聴きました。津山市のホテル跡地を使った交流拠点づくりなど、箱物に頼らない賑わいづくりの事例を学びました。

産業経済委員会
管内行政視察

産業経済委員会では、ラ・フォーレ吹屋と備中町西油野地内の農道高岩線の管内行政視察を実施しました。ラ・フォーレ吹屋（成羽町吹屋地区・農林業体験実習館）は、新たな指定管理者として（株）下電ホテルと（株）ティ・シー・シー（天満屋グループ）の共同企業体により運営されます。本来は令和5年4月の開業予定でしたが、改修工事の遅れ、スタッフ確保の面からも開業が遅れてしまったと議会でも説明があり、今回、観光課・指定管理者の説明を受け、再開直前の現場を確認しました。なお、令和5年7月25日から営業を再開しています。

農道高岩線（ふるさと農道・東油野～西山まで）は、令和3年7月の豪雨により、長さ36mにわたり表層崩壊が発生したため災害復旧工事中でした。そ

の後2度にわたり被災したため、ボーリング調査を行い、農政局が確認し、今後査定を受けて「地すべり対策工事」を行います。



農道高岩線復旧工事現場

総務文教委員会
所管事務調査

8月17日、総務文教委員会の所管事務調査を行いました。高梁認定こども園（仮称）については、8月の段階で事業費が38億6700万円となっていました。物価高騰による見直し（試算）時に比べ、ZEB化により約5億円の増額となったとの報告がありました。また、有

総務文教委員会所管事務調査



漢学園については、3月に示された令和5・6年度の事業費が12億6000万円でしたが、周辺整備も含めた全体事業費が13億2000万円になるとの報告がありました。委員からは、今後も事業費削減に努めるよう要望がありました。

高梁市図書館については、開館から6年半が経過した中、利用状況、イベントや展示スペースの活用等の新たな取り組みについて説明を受けるとともに現地を視察しました。



高梁市議会
YouTube 公式チャンネル

配信中！

高梁市議会 Youtube チャンネルで、過去の一般質問を見ることができます。

一般質問

ココを聞きました！

川上博司

- ・带状疱疹について
- ・視覚障害者の情報取得について

伊藤泰樹

- ・認知症について
- ・公共施設等総合管理計画について
- ・教育について
- ・市内県立高校の2校存続に向けた取組について
- ・シティプロモーションについて

宮田好夫

- ・物価高騰による財政への影響について
- ・物価高騰による行政事務への影響について
- ・教員の働き方改革について
- ・学校園の再編について

金尾恭士

- ・ラ・フォーレ吹屋消防計画未作成の問題について
- ・市における指定管理施策（ラ・フォーレ吹屋、図書館、文化センター）について
- ・川上こども園の水害対策について
- ・川上体育館の外壁の剥離対策について
- ・今後の本市の持続的な財政運営について
- ・ベビーファースト宣言の効果について

小林重樹

- ・学校部活動のこれからの在り方について
- ・高梁市行財政改革プラン（案）について

平松久幸

- ・本市の建設工事の入札のやり方と工期について
- ・草刈りについて
- ・行財政改革について
- ・高梁市復興計画について
- ・小・中学生のスポーツの支援について

森上昌生

- ・「かんとり〜バス」について
- ・ピースワンコ・ジャパン西山犬舎について

石井聡美

- ・熱中症対策について
- ・産業振興について
- ・今後の市政について

石部 誠

- ・マイナンバーカードについて
- ・新型コロナウイルスの感染状況と対応について
- ・ベビーファースト宣言事業者の水道料金減免について
- ・ラ・フォーレ吹屋の指定管理と運営について
- ・「かんとり〜バス」の運行について

森 和之

- ・災害の情報伝達について
- ・鳥獣被害対策について
- ・備中たかはし松山踊りについて
- ・高齢運転者に対する補助について
- ・猛暑対策について

倉野嗣雄

- ・耕作放棄地の対策について
- ・本市の鳥獣対策について
- ・道路の管理について

川上 視覚障害者の方に送付される公的な通知等へ「音声コード」

視覚障害者の情報取得について

健康福祉部長 国のワクチン検討審議会において定期接種について議論されていると伺っている。国の動き等を勘案しながら研究していきたい。

川上 带状疱疹ワクチンの接種費用は生ワクチンで1回8000円程度、不活化ワクチンは1回2万2000円程度と高額で、2回接種しなければならぬ。美作市、美咲町では接種費用の半額を助成している。本市でも助成すべきではないか。

带状疱疹について

带状疱疹ワクチン接種費用について助成すべきではないか

川上博司 議員

音声コード

○音声コードは紙媒体に掲載された印刷情報をデジタル情報に変えるための二次元のバーコードであり、切り欠きと呼ばれる半円の穴によって、音声コードの位置がわかります。



出典：内閣府（視覚障害のある方のための「音声コード」について）を基に作成

市長 音声コードを付けるには印刷物に「切り欠き」加工が必要であるが、前向きに検討したい。

を付けるようにすべきではないか。



スピード感をもっと問題に

伊藤 泰樹 議員



市長 何よりも住民の皆さんに危害等が及ぶことになってはいけないので、そのことは十分に承知して進めていく。

認知症について

伊藤 どこに相談すればいいのか。
健康福祉部長 高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターで相談していただきたい。

公共施設等 総合管理計画について

伊藤 用途廃止した普通財産のリストはどうなったのか。
総務部長 内部的には昨年度土地約4800筆、施設は58リストアップしているが、公表は8件である。
伊藤 最終判断に至った件数は。
総務部長 売却、譲渡、除却の方針が確定した施設は無い。
伊藤 閉校して約30年経過している旧坂本小学校はどうするのか。

教育について

伊藤 落ち着いて学習できないクラスがあると聞くが。
教育長 そういったことがあれば、そのとき考えられる最大の対応をしていきたい。

市内県立高校の2校存続に向けた取組について

伊藤 庁舎1階に広報コーナーを設置してはどうか。
教育長 展示内容も含め、前向きに取り組んで参りたい。

シティプロモーションについて

伊藤 本気で取り組んでいるのか。
政策監 スピード感を持つてしっかりと事業に取り組んでいく。

電気代高騰の影響での値上げはすべきではない

宮田 好夫 議員



電気代の高騰 水道や畑かんへの影響は

宮田 電気代の上昇により水道や畑かん事業に影響はないか。

土木部長 水道事業の電気代は高騰しており、令和4年度は前年度比で706万4千円の増、令和5年度はさらに、1589万7千円増の見込みである。

産業経済部長 畑かん事業は光熱水費が75%を占めていて、令和4年度は前年度比で815万2千円の増、令和5年度はさらに100万円増の見込みである。

宮田 生活に必要なもので使用料金の値上げはすべきではないと考えるがどうか。

市長 水道料金は令和2年度から段階的に値上げしている。すぐに

再改訂は考えていないが、状況を見て必要なら審議会等をお願いしたい。畑かん事業の電気代は高騰前と比較し88%も増加しているが、料金が維持できるよう受益者団体と協議をしている。

学校園適正配置 検討委員会について

宮田 学校園適正配置検討委員会が招集されたが、どのようなものなのか。

教育長 年間出生数が90人程度となる中、向こう10年間を見据えて市内に小・中学校等をどう配置するのかを研究・検討する委員会である。

危機管理意識を正す！

金尾 恭士 議員



ラ・フォーレ吹屋消防計画
未提出の問題について

金尾 7月25日にラ・フォーレ吹屋が再オープンしたが消防法に基づく消防計画が提出されていない。重要な書類であると考えるがいかがか。

消防長 提出の必要性は認識されていたが、オープンまでに提出はなく、8月2日に提出された。

産業経済部長 指定管理者の認識不足、今後市の指導を徹底したい。

金尾 法令順守が大切。危機管理意識が希薄なのではないか。

川上こども園の
水害対策について

金尾 平成25年の西谷川の増水による水害で、川上こども園は大きな被害を受けた。それ以来、西谷川の改修要望を毎年PTAが

行っているが、進展がない。園児の安全が第二ではないか。

土木部長 被害を受け、砂防河川施設管理者の岡山県が復旧工事を行った。平成30年豪雨の際には、消防団が土のうを設置した。堆積土、支障になる木も成長している。護岸は県だが、河川自体の管理は市なので、しゅんせつ、伐採等で令和6年度に対応していきたい。

川上体育館の外壁の
剥離対策について

金尾 川上体育館の外壁の剥離が一段と進んでいる。今年度6月頃から工事に入るとのことだったが、いまだに延期となっている。

教育次長 緊急性の高いものから取り組んでいる。現在は、実施設計が済んだ段階で、今後入札を経て、工期を3か月程度と設定し、1月末には完了できればと考えている。

高梁市の職員数は 適正な人数なのか

小林 重樹 議員



学校部活動の
これからの在り方について

小林 高梁市が取り組む方向性についての考えを問う。

教育長 令和5年度から3年間で地域指導者が関わる競技や機会を増やす。中学校や地域スポーツ、文化団体と連携し活動したい。

小林 最終的には広域的なスポーツクラブを考えているのか。

教育長 地域と連携した活動が軌道に乗り中体連等の大会出場資格が満たされた場合は出場できる。

高梁市に適した職員数は

小林 行政資源を充実させることは人口問題に他ならないが、職員の適正人数は想定しているか。

総務部長 本市と類似する自治体の人口1万人あたりの平均職員数は約96人となっており、本市比較では一般行政部職員が5・6%多い。令和5年4月の職員数は、正規職員617人、会計年度任用職員489人である。次期プランにおいて財政状況に見合った事業規模、施設規模の見直しを行い、それらが整理された上で適正な職員数について並行して検討していく。

職員の能力の向上を

小林 行財政改革プラン（案）にある「職員の生産性の向上」とはどのような意味か。

市長 時間当たりの、成果を向上させるということです。職員の能力開発や意識改革を図る研修を進めていき、人材を育成する。

平成30年7月豪雨から5年 災害から強いまちづくりへの 取り組みを問う



平松 久幸 議員

高梁市復興計画について

平松 災害復旧は完了したが、斎場や玉川地域市民センターの移転など、取組状況はどのようになっているのか。

政策監 斎場においては高梁川水系中上流ブロック河川整備計画に基づき岡山県と情報交換を行いつつ、移転の検討を行っている。玉川市民センターの移転については「玉川市民センター移転整備検討委員会」で検討している。

平松 自主防災組織の結成等、地域防災力の向上が必要と感じるが、現在の状況は。

政策監 平成30年7月豪雨以前は自主防災組織は16組織だったが、現時点では28組織ある。

建設工事の入札と 工期について

平松 新消防庁舎の建築主体工事の一回目の入札が不落になったが、完成に影響はないのか。

総務部長 当初7月の落札を想定していたが、工期は2か月後ろ倒しになり、完成も2か月ずれ込む。

平松 入札価格の漏えいから職員を守る側面、適正な工期の側面からも設計価格を事前公表すること必要ではないか。

総務部長 事前公表は、見積努力のない業者の落札等の恐れがある。国、県の指針による原則予定価格事後公表に取り組んでいる。

平松 過去2年間の建設工事の予定価格に対する落札率を問う。

総務部長 令和4年度の落札率は95・1%であり、令和3年度は94・7%であった。

空港⇄吹屋送迎バス (かんとりーバス) について問う

森上 昌生 議員



昨年度実証運行の評価と 本年度運行の現状を聞く

森上 送迎バス事業の昨年度の実績を見ても決して大きな成果を挙げたとは思われないが、拡大運行することの意義は何か。まず昨年度の事業を分析し、どのように評価しているのか。

産業経済部長 昨年度の実績は1便当たり6・1人と思うように乗客数は伸びていない。航空機、JRからの乗り換えが6割以上、県外からの利用客がほぼ5割となっている。秋の行楽シーズンには平均乗車人数が10人を超えたということから、定着すれば工夫次第で発展が期待できるという検証結果を得ている。

森上 どのような工夫で発展が期待できるのか。

待てるのか。

産業経済部長 本年度改良点はアテンダントが乗車して観光案内を行ってアンケートの結果も好評価の感想もいただいている。

森上 自分も初日に乗車したが、アテンダントが本当に要るのだろうかと感じた。さらにアンケートの有料でもバスに乗るかという質問に70%近くが乗るとの回答したとあるが、本当に乗るのだろうか。また料金は幾らになるのか。

産業経済部長 アンケートの結果を顔面どおり受け取る訳ではなく、採算にあう料金はかなりの高額となるので、その辺も含めて来年度どうするかを検討する考えだ。

市の現状に即した総合計画を



石井 聡美 議員

熱中症対策に
電動アシスト自転車を

石井 夏の登下校中に熱中症になる事故を起こさないために、登下校に電動アシスト自転車を使うことは可能なのか。

教育長 保護者からの要望があれば、電動アシスト自転車を使用することは認めている。

市内のHP作成で産業育成を

石井 備中松山城など市内の観光地にはオフィシャルサイトがない。そういった仕事を市内のデザイナーに発注することで、産業育成につなげるべきではないか。

産業経済部長 発注者と市内デザイナーをつなぐ工夫をしたい。

総合計画に危機感が足りない

石井 高梁市は全国平均よりも未婚率が高く、財政状況は県内他自治体に比べて数値が悪い。総合計画にはそんな状況に対する危機感が足りないのではないか。

総務部長 毎年実施計画をローリングする中で、施策の優先順位を見直している。

石井 今後、後期計画を策定する際に、現在のような総花的計画ではなく、現状に即した真剣味のある計画をたてるべき。市民とも話し合いの場を持つべきでは。

総務部長 市民に納得感を得ていただけるような計画見直しのプロセスが必要。対応していきたい。

一民間団体の活動に 税金投入はあり得ない！



石部 誠 議員

マイナンバーカードの問題点

石部 マイナンバーカード取得を事実上強制し、保険証廃止とマイナ保険証を一本化することで、無保険状態が発生したり、介護支援が必要な方・障害を持つ方のカードの取得が困難となっている。現行の保険証を残すことが、最も簡素な解決方法と考えるが。

市長 高梁市の業務で問題や間違いは起きていない。資格確認書は職権交付になるので、確実に必要保険診療が受けられる。

新型コロナウイルス感染者の困難

石部 新型コロナウイルス感染症は2類から5類へと制度上移行されて以降も、感染者は減らないが、感染者や病院・福祉関係の事業所支援はどうなるのか。

健康福祉部長 市内の感染者数は把握できてないが、感染状況の傾向やワクチン接種の状況などの情報交換を関係機関としてしている。困っている方は福祉・介護それぞれの窓口相談してほしい。

民間団体の運動に税金投入は

石部 ベビーファースト宣言事業者（法人税納付）への水道料金減免は、一民間団体の思想運動に市が関わり税金投入する問題。儲かっている事業者よりも納税したくてできない事業者へ支援をすべきではないか。

土木部長 ベビーファースト宣言は

高梁市も賛同している。運動に賛同した法人税の納税事業者に対し、水道料金の基本料金を最大6月分減免することは、子育て支援の啓発、経済の支援も図れる。

捕獲おりを増やして イノシシ被害減少につなげよ



森 和之 議員

猛暑対策について

森 消防団の積載車にエアコンを装備すべきではないか。

消防長 今後整備していく消防団車両にはエアコンは標準装備したいと考えている。既存の車両については、設置に伴う車両への不具合などを調査して後付けのエアコンを早急に検討していく。

鳥獣被害対策について

森 捕獲おりの数を増やすために、補助制度を見直せないか。

市長 現在、市鳥獣被害防止対策協議会が31基のおりを保有している。おりの数を増やすことが重要なので、猟友会などと相談しながら、捕獲おりの貸し出し数を増やしていく。

森 鳥獣対策係には動物の生態に

詳しい職員や狩猟経験豊かな職員の採用・配置が必要ではないか。

副市長 市内全域を対象係の職員だけでカバーするのは難しい。猟友会の持つている経験、技術を若い猟師に伝授し育成していくサポートをするのが行政の役割だと考えている。

高齢運転者に対する補助について

森 高齢運転者に対してアクセルとブレーキペダルの踏み間違い防止装置の購入補助はできないか。

市民生活部長 今回の補正予算で購入補助の予算を計上している。詳細については現在検討中ではあるが、年齢65歳以上、補助率3分の2、上限10万円と考えている。

イノシシ被害は他市との連携を



倉野 嗣雄 議員

耕作放棄地の対策について

倉野 農業者の高齢化や後継者不足により耕作放棄地が増えている、市の対応を問う。

産業経済部長 市としては、備中町の平川地区、湯野地区に農業団地を造成して新規就農者を呼び込んでいる。今後各地域で展開していきたいと考えている。

倉野 農業再生機構の補助や制度が分かりにくい、地権者や地元住民への説明をどのように行うのか。

産業経済部長 要望があれば地元へ出向いて十分な説明に努めたいと考えている。

道路管理について

倉野 イノシシが農地だけでなく、道路の法面を掘り荒らしている、



イノシシに掘り返されたのり面

大雨などにより大きな災害につながると思うが、市の対応を問う。
市長 危険が及びそうな、二次災害が起こりそうな場合には、市へ連絡をしてほしい。市で対応する。
倉野 高梁市だけでなく他の市町村とも連携して国へ対応を求められないか。
市長 全国的な話であり、全国市長会などで取り上げ状況を共有した上で対応していきたい。

12月の定例会スケジュール

12/1	金	本会議（議案の上程）
7	木	本会議（一般質問）
8	金	本会議（一般質問）
11	月	本会議（一般質問）
13	水	本会議（議案質疑）
14	木	委員会
15	金	委員会
18	月	委員会
21	木	本会議（採決）

※12月定例会への請願・陳情の締め切りは11月22日(水)までです。

※日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

**政治家の寄付は禁止！
有権者が求めることも
禁止されています！**



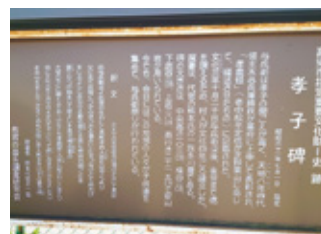
公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。

お詫び

議会だより第55号2・3ページの現状での建築工費を（維持費）としておりましたが、正しくは（継続費）の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

編集

議会広報聴特別委員会
委員長 森 和之
副委員長 金尾 恭士
委員 石部 誠
委員 石井 聡美
委員 森上 昌生
委員 伊藤 泰樹
委員 新倉 淳
委員 平松 久幸



新 高梁人名録

よへえ
与兵衛さん
(不詳～1806)

今から50年以上前のこととなりますが、毎年秋の布賀小学校（備中町）の運動会では「孝子与兵衛」祭りが必ずプログラムの中にありました。与兵衛の命日が文化3年（1806）10月20日でもあり、この時期に与兵衛の遺徳を伝承するために行われていました。いつ頃から始まったかは不明ですが、大変長く受け継がれていました。

与兵衛は大変な親孝行者であり近郷で村芝居などがあると聞くと、現代では考えられませんが、母親に楽しんでもらうために丸一日かけてでも、年老いた母親を背負い野山の悪路を越えて連れていってあげたそうです。

与兵衛の親孝行ぶりは近郷に知

れ渡り、当地の4代目領主水谷兵庫勝政も聞き及ぶこととなりました。そして勝政公が幕府に上申して表彰され「孝義録」（老中松平定信が柴野栗山に命じて編纂させた。国立公文書館所蔵）に記載されています。

与兵衛の没翌年、後世まで徳を讃えるために村人により記念碑が現在の布賀コミュニティハウスに建立されています。残念ながら、近年、孝子与兵衛祭りは行われていません。記念碑に菊の花を飾りお年寄りの方から与兵衛の遺徳を学び、与兵衛饅頭を食べたことを思い出し、そして後世に与兵衛の遺徳を伝承することの必要性を感じています。

今号の表紙

宇治高等学校



「ゆっくりじっくり自分のペースで何度でも」宇治高校で大切にしている言葉です。自分も仲間も大切に、信頼し合える人間関係の中で、安心して学ぶことができる環境づくりを行っています。宇治小学校や宇治地域との連携を通じて、異年齢間のコミュニケーション力を高め、社会貢献できる人を育成しています。

9月議会を終え、今年も見事な羊名月を愛でる間もなく本格的な秋も深まり、朝晩は肌寒さを覚える季節となりました。この時期には体調を崩すことも多く、日中の暑さと朝晩の涼しさの差に気を付けて体調管理に気を配ることが肝要です。

9月議会の冒頭、市長より「災害復旧事業に係る未払金」に関する報告がありました。この問題は6年前に同様な事件があり、二度と繰り返さないという思いで、百条委員会を立ち上げ、原因究明に努めた経緯がある中、再び今回の事案が起きたことは、市政に対する市民の信頼を一気に失うことになりかねない事案です。現在、特別委員会を設置して、早期の原因究明とともに今後の再発防止に向けて取り組んでいます。

(森上昌生)